

アートを探求

# AAC Journal

AICHI ARTS CENTER

by 愛知芸術文化センター

愛知県美術館

画家たちが見出した“スウェーデンらしさ”とは——  
暮らしの中にある美を大切に、スウェーデン人ならではの感性がここに！

北欧の国、スウェーデン。本展は、近年世界的に注目を集める北欧美術の中でも、スウェーデンの絵画に特化した日本初の展覧会です。1870年代後半、スウェーデンの若い芸術家たちはフランスに渡り、写実主義や外光派の表現を学びました。しかし次第にスウェーデンならではの主題を描こうという思いを強めた画家たちは、故郷に帰り、自国をはじめとする北欧特有の風景や暮らしに目を向けます。日常にひそむささやかな喜びや、厳しくも美しい自然に魅力を見出した画家たちは、豊かな詩情をもってそれらの主題を描き出しました。本展はスウェーデン国立美術館の全面協力のもと、19世紀末から20世紀初頭にかけて制作された約80点の絵画をとおり、スウェーデン美術の「黄金時代」をご紹介します。

愛知県美術館 学芸員 白鞘南海



上. カール・ラーション《カードゲームの支度》1901年  
油彩、カンヴァス スウェーデン国立美術館蔵  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum  
下. グスタフ・フィースタド《冬の月明かり》1895年  
油彩、カンヴァス スウェーデン国立美術館蔵  
Photo: Hans Thorwid / Nationalmuseum



スタッフのオススメ関連本! **ART LIBRARY**

グレー=シュル=ロワンに架かる橋  
黒田清輝・浅井忠とフランス芸術家村  
荒屋鋪透 / 著 ポーラ文化研究所、2005

芸術家村グレー=シュル=ロワンの魅力を全4章でひもといた書籍。日記や回想録を多く引用し、特に、グレーに滞在した日本人画家・黒田や浅井へ焦点を当て、彼らに与えた影響を解説。

白鞘学芸員



## スウェーデン絵画

劇場とチケット Pay as You Wantのトーンド一考  
その時代にしか描けないものを描く 福田美蘭  
スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき  
国内最大級のオルガンでフランス音楽に魅せられる

## 北欧の光、日常のかがやき

カール・ノードシュトゥム  
《デューン島のホーガ盆地》1897年  
油彩、カンヴァス スウェーデン国立美術館蔵  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum



詳細は展覧会特設サイトで!

2026年7月9日(木)~10月4日(日)  
スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき

場所/愛知県美術館  
時間/10:00~17:00 ※金曜~20:00(入場は閉館の30分前まで)  
休館日/毎週月曜日(ただし7月20日[月・祝]、8月10日[月]、9月21日[月・祝]は開館)、  
7月21日(火)、9月24日(木)  
料金/一般2,000円(1,800円)、大学生1,200円(1,000円)、高校生700円(500円)、中学生以下無料  
※( )内は通常前売券および20名以上の団体料金です。

2026 SUMMER

Vol. 128

愛知県芸術劇場

国内最大級のオルガンで  
フランス音楽に魅せられる

近現代フランス・オルガン音楽の魅力、豊かな響きとともに深く味わうコンサートを開催。自身がオルガン奏者でもあった作曲家のフランク、デュリュフレ、メシアンらの作品を中心に、約2時間のプログラムをお届けします。演奏と解説は、近現代曲の演奏に定評があり、オルガニスト・作曲家で

横浜みなとみらいホール第2代ホールオルガニストを務める近藤岳。フランス・パリを拠点にヨーロッパで研鑽を積んだ後、ソロ演奏やオーケストラとの共演、作曲活動など幅広く活動しています。今回のコンサートでは、自身も演奏と作曲を行う近藤ならではの視点を交え、わかりやすい曲目解説も。作品の様式や背景を丁寧にひもとき、理解を深めながら鑑賞できるプログラムです。愛知県芸術劇場コンサートホールで、オルガン音楽の荘厳で奥深い世界をご体感ください。



© kousaku Nakagawa

曲目  
● C.フランク:コラール第3番 イ短調  
● 近藤 岳:花の歌(献華偈)  
● O.メシアン:  
《キリストの昇天》より  
III.キリストの栄光を自らのものとした  
魂の歓喜の高まり ほか

出演 オルガン・解説 近藤 岳



© 藤本史昭

2026年8月20日(木)  
オルガン・トークコンサート

場所/愛知県芸術劇場コンサートホール 時間/19:00~  
料金/一般2,500円、[U25]1,000円 チケット/発売中  
※[U25]は公演日に25歳以下対象(要証明書)。 ※未就学児入場不可。  
※「劇場と子ども7万人プロジェクト」(小・中・高校生招待)対象公演。



詳細は劇場WEBページで!

村社祐太郎のAAF戯曲賞受賞作『とりで』を、羽鳥嘉郎と澄井葵の異なる演出で連続上演するという。会場に入ると前方にだだっ広い奥行き。手前上手にスツール、下手にパイプ椅子、中央に置かれた長机。見上げると巨大な円盤状の光——中山英之による舞台美術だ。天窓のように据えられたそれは手前と客席を光のなかに立たせ、奥をなだらかに暗く沈ませる。

羽鳥演出が始まる。袖からこそそと笑い声。現れた出演者たちの視線はどこかあわず、台詞の途中で唐突に吹き出しもする。舞台上の戯曲冊子で台詞を確認する瞬間もあり、フィクションを演じる以上出演者自身の親密な関係が垣間見えながら、とはいえ虫を払う身振り、剪定バサミ、スマホといった所作・事物が戯曲のト書きをなぞることで、確かに「戯曲の上演」とも感じさせられる。そのうち舞台上の親密な関係への距離感が、戯曲で描かれる家族の親密さに読者として触れる距離感そのものにも思えてくる。つまり親密さへの隔たりこそが上演されている——最後、出演者がひとり暗い奥へ歩み発する声は、私に向けられたものではないが、どこか馴染み深く響く。

転換を合図に大量の椅子が前景を埋め尽くす。その奥、薄暗く狭いスペースで、澄井演出が始まる。二人の出演者が二人の役柄の台詞を区別なく、ともに同時に発話していく。どれがどの役柄に紐づく言葉かわからず、そもそも視覚的にも聴覚的にも遠い上演空間は観客からイメージも親密さも投影しづらい。第二部に入るとさらに声はばらけ、こちらに向けられなくなり、視聴がいよいよ困難となっていく。羽鳥演出が親密さと隔たりの往復を通じて「戯曲

との関係性」を上演していたのに対し、澄井演出は鑑賞の条件そのものを観客から奪い、それによって戯曲の言葉だけを遠さのなかに残していた。

あらためて戯曲を思う。村社のテキストは明瞭な言葉に奇妙な厚みを備えさせながら、根拠をひとつに定めない。その定まらなさこそが精緻に組み上げられていた。設えの目指す先が強固な造形物ではなく、ゆるい遊びの余地、隔たりの多様な発見でこそあること。連続上演は『とりで』固有の質を展開する方法としての的確であった。

山本 浩貴さん Hiroki Yamamoto  
1992年生まれ。「いぬのせなか座」主宰。小説の執筆、芸術の批評、書物のデザイン・出版、舞台の演出などを通じて、表現と生の関係可能性を検討・提示している。



写真は澄井葵による演出 © HATORI Naoshi

第22回AAF戯曲賞受賞記念公演『とりで』

2025年12月19日(金)～21日(日) 公演WEBページに本レビューのロングバージョンを掲載しています。



気候変動の現実を問う  
ローザス×アトラファイブの公演は  
6月24日(水)にアマノ芸術創造センター名古屋で開催。

一時休館に伴う貸出・返却のお知らせ

貸出 6月30日(火)まで可能です。  
返却 6月30日(火)までに、カウンターへお持ちいただくか、郵送や宅配便をご利用ください。

(アートライブラリー休館日の場合は、アートライブラリー入口横の返却ポストをご利用ください) ※6月16日(火)から6月30日(火)までの貸出分も、6月30日(火)までに返却ください。

鑑賞 note

心を揺さぶり、思考が巡る、  
その場でしか味わうことのできないもの。  
丁寧な言葉で残されたレビューを読み深めて楽しみたい。

2026年4月、愛知県美術館、愛知県陶磁美術館は地方独立行政法人として二館一体運営となり新たなスタートをきった。展覧会の“花形”とされるのは企画展であるが、同時に開催されているコレクション展を忘れてはならない。長い年月をかけて収集した作品の数々が展示され、その館独自の“色”を表す重要な位置にある。そして両館のコレクションを合わせると、なんと1万8千件を超える。地方独立行政法人化後の記念すべき初の所蔵品展「コレクション、往来!」は、その膨大なコレクションをもとに愛知県美術館の副田一穂氏と愛知県陶磁美術館の入澤聖明氏、二人の学芸員が企画した。

まず、目に飛び込んできたのは「黄金の騎士」とも呼ばれるグスタフ・クリムト《人生は戦いなり》と明時代後期に景德鎮窯(中国・江西省)で焼かれた《青花牡丹文有蓋壺》である。両館の名品が並ぶ中、思わず「ん？」と声を発してしまった。エミール・ノルデ《静物L(アマゾン、能面等)》に描かれている類似の陶磁作品《加彩騎馬俑》が絵の隣に展示されていた。何より興味をそそられたのは、各章ごとのユニークな取り合わせである。作家が目にし、作品に取り入れたモチーフやテーマなど、時代ごとに関連する作品がジャンルを超えて仲良く展示してあるのだ。美術史の流れとともに、歴史的な事情や社会性と照らし合わせ、コレクションを再考しようとする試みである。さらに会場を進むと作品の軽妙な取り合わせに、驚きと少しのおかしみがこみあげてきた。おもちゃ箱をひっくり返したかのように、両氏が楽しみながら作品を選び、展覧会を作り上げたことが伝わってくる。まさに“二人の学芸員の作戦会議”があったのだ。

世界を西へ、東へ移動して、はたまた紀元前へタイムスリップしたと思うと、現代に戻る。この展示室では世界を、時を駆け抜ける壮大な旅が繰り広げられていた。作品の中には西洋に憧れた東洋、東洋に憧れた西洋、歴史や世界に対する作家たちの想いが込められている。船に乗り、鉄道に乗り、遠く長い旅をした作家たち。彼らは何を見つけたのであろう、何を感じたのであろう。

さあ、愛知県美術館へ、両氏が描いたプランで旅にでかけようではないか。

齋藤 智愛さん Chie Saito  
岐阜県美術館学芸員。主な担当展「大正・昭和「モード」の源泉」など。



2026年度第1期コレクション展

地方独立行政法人化記念 県美+愛陶コレクション企画 コレクション、往来!

2026年4月24日(金)～6月21日(日)  
場所/愛知県美術館 展示室5

愛知県美術館の一部観覧料がお得に!

開館時間の変更にご注意を

愛知県美術館は、2026年4月1日から地方独立行政法人愛知県美術館機構による運営となりました。これに伴い、観覧料や開館時間を一部変更しました。高校生の「コレクション展」観覧料が無料に、「身体障害者手帳」「精神障害者保健福祉手帳」「療育手帳」「特定医療費受給者証(指定難病)または指定難病登録者証」(ミライID可)をお持ちの方は「企画展」が無料に、同手帳・受給者証をお持ちの方に付き添って観覧される方も1名まで「企画展」が無料になりました。また、10階エリアの開館時間は10～17時(金曜は20時まで)となりました。

お知らせ Letter

リニューアルしたWEBサイトはこちら!



もっとアートを楽しもう  
こころのおやつ  
AACタイム  
WEBで読む・見る・聞くウェブマガジン

AACタイム Instagram Spotify  
aactime.aichi.jp @aichigeibunactime  
愛知芸術文化センターの  
アートがもっと  
好きになるラジオ

AACクイズ!



ヴィヴァルディ

自然や人間の感情の音楽表現に長けた後期バロックの音楽家

詳細は劇場WEBページで!



ヴィヴァルディの名曲「四季」から創作されたローザスのダンス作品にちなんでクイズを出題!

『四季』で描写されていない情景は、次のうちどれでしょう。  
答えはページの右側

- 1 狩り
- 2 嵐
- 3 吹雪
- 4 昼寝



その時代にしか  
描けないものを描く

INTERVIEW

# 福田美蘭

聞き手/愛知県美術館 主任専門員 深山孝彰  
撮影/浅野杏子

## 1995年、想像力を超えてきた現実

深山(以下、深) 福田さんの作品は、社会的な出来事や美術史、過去の名作などを自身なりに解釈しながら制作されてきたように感じます。愛知県美術館が2023年に収蔵した2作品からも、その姿勢がうかがえます。まずは『高きやに』登りてみれば(1995年)の制作背景からお聞かせください。

福田美蘭(以下、福) この作品では仁徳天皇の和歌の「高き屋に登りて見れば煙たつ民のかまどはにぎはひにけり」を題材にしています。歌に見られるような民の営みを見守る視点や穏やかな時間の感覚を木版画のような静かな画面として描き、一方で画面には異質な要素が入り込みながらも、描かれた人物たちはそれに気づいていない。上空からの爆撃を思わせるアニメーション的な表現は、欧米など外部から流入してくる現代の文化や状況を象徴しています。動かない木版的な表現と、動きを想起させるアニメーション的なイメージを対置することで、異なるフーズの現実が同時に存在する状態を示そうとしました。

深 「流入してくる欧米文化」というご説明でしたが、この絵を描かれた1995年には阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件が起きていて、それも制作の契機かと推測している



《高きやに 登りてみれば》1995年 愛知県美術館蔵



愛知県美術館で2026年4月24日(金)~6月21日(日)まで開催中の「2026年度第1期コレクション展」で、2作品を展示している。「美術家は自分が納得する作品を作り、それを広めるのは学芸員です。どうい風にならぬかとリンクしていくかを自分の中で考えています」と福田。

## 福田美蘭 FUKUDA Miran

1963年東京都生まれ、同地在住。グラフィックデザイナーの福田繁雄を父に、童画家の林義雄を祖父に持つ。東京藝術大学美術学部絵画科油画を卒業後、同大学大学院修士課程を修了。89年、第32回安井賞を史上最年少で受賞。以降、美術館の所蔵作品や歴史的な図像、社会的な出来事などを手がかりに、絵画の枠組みそのものを問い直す作品を制作。国立国際美術館、東京都美術館、千葉市美術館、名古屋市美術館などで個展を開催。



《扇面流図》2007年 愛知県美術館蔵

深 《扇面流図》(2007年)は、江戸時代の絵画様式である「扇面流図」から着想を得たもので、背景の波は17世紀の俵屋宗達派による作品からとられている。この作品では扇子の代わりから、2007年の夏に福田さん自らが街で配られていた団扇を集め、実際に貼り付けて制作されたそうです。

福 当時は夏に歌舞伎町とかに行つて一周すると、キャバクラやインターネット回線、旅行社、マンガ喫茶なんかの団扇が10枚くらい集まったんですよ(笑)。きつと何十年後にはもう古い広告になるところは重々

## 一過性の広告にも雅な流れがある

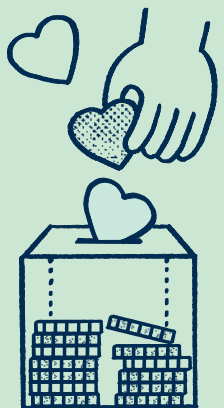
承知で、そこが重要だと思つて作りました。宗達派にも古典を古いものにしなくて、そこから新しいものを生み出していく流れがありました。宗達は実際に使われていた扇面を剥がして画面に貼つていたので、それを引用して現代の広告を使つてみたという感じですね。

深 現代ではこういった広告も少なくなり、世相を反映した作品ともいえます。福 だから一過性というか、この時代の広告もいずれば流れてなくなつていく。その感覚はずくく入つていて、宗達派の考え方も合致する部分があると思います。宗達派における「歌取り」は、過去の名作を土台にしながら、その時代の精神を入れることで新しい美として再生していくものなんです。江戸の人たちだったら、源氏物語のようなモチーフから雅な平安文化の懐かしさを感じたり、それを題材に当時の感覚で読み替えていたと思うんです。それと同じように、現代を広告みたいなものから読み取ることができると。宣伝というののも一つのコードであつて、それを使って現代的ななかにすることをやろうとしていました。

深 福田さんはこれまでも東西の名画を引用されてきましたが、それはいつ頃からですか。

福 美術館で個展のお話をいただくよう

# 劇場とチケット



## Pay as You Wantのトレンド一考

### あなたが決める、納得のハッピー・チケット価格は?

近年の米国、特にニューヨークの劇場のチケット販売システムには、新しいトレンドが登場しています。「Pay as You Want(以下PAYW)」、つまり「お好きな価格を払ってください」だけでいいんです。というものです。このシステム、日本でももう知られているから、ん?と、ググってみたら、ひとつだけ、一年と少し前の報道を発見しました。朝日新聞の、「ニューヨークタイムズ世界の話」という連載コラムの中で、「チケット代は観客が自分で決める」と見出した記事。オペラ・フィラデルフィアが昨年度から始めたシステムのことを取り上げていました。

## MORE THEATER

同オペラのHPで座席表を見て、希望の座席にカーソルを当てると、下は\$11から上は\$250まで、様々な価格オプションを示したプルダウンメニューが浮かびます。そのひとつには「標準価格」という但し書きがついていて、「一階席か二階席か」としたセクション次第で標準価格は\$86だったり\$136だったりします。ですから同じ\$11を払うのでも、セクション次第でティスカウント率が違います。

あなたがたい制度ですが、同時に、大半の人が\$11で購入したら大幅赤字にならないの?と心配にもなります。でも、発想の源は、「オペラの巨大なコストをカバーする命づなは寄付金で、チケット収入なんぞがはれている」というもの。前述の記事によれば、「オペラは高くても手が届かないと思つて、多くの人々にオペラへのアクセスを与えた。その意義を買つて、支援者からの寄付が増えた」とのことです。つまりは成果は上々のようです。

さて、このPAYW方式の先駆けは、おそらくニューヨークの巨大複合舞台芸術施設、リンカーン・センターでしょう。最低額はたったの5ドル。コロナ明けの2022年10月、同施設の一部であるNYフィルハーモニーの常駐ホール(Geifman Hall)のリニューアルオープンをきっかけに導入した...と記憶しています。

でも、リンカーン・センターがPAYWを始めた理由はオペラ・フィラデルフィアとはちょっと違っています。60年代に誕生した同センターは、黒人とフェル

トリコの人々の住む世界を力づくで「浄化」してきた西洋白人文化の殿堂です。「追い出し」してしまった彼らにも大きく門戸を開くための、いわば「贖罪」が背景にあります。

一方、私のような舞台芸術界にいる人間にとっては、大掛かりなプログラムをたつたらドルで買うのは、ちょっと気が引けます。かと言って、やはりチケット代を節約できるのはありがたい...。ではいったいくら払ったら自分のモラルに抵触しないのか?と毎度自問自答に陥ります。

オペラやリンカーン・センターのような大型のところだと、客席数も多いですから、標準価格で購入してくれるおらかなお客様の数で大幅な赤字も吸収できるのかもしれない。それに、大型施設を抱える大型富裕層からの寄付金も、大型です。

でも、PAYWを導入しているのはそういう大きなところばかりではありません。70席にも満たないフルツクリンの小劇場「ジャック」、マンハッタンのコテンポラリー・ダンス専門劇場「NYライヴ・アーツ」、最先端の実験的作品ばかりを上演するクイーンズ区の「ジョコレイト・ファクトリー・シアター」といった小さなところも、PAYWシステムを取り入れています。ですが、これまた少々趣旨が違っています。

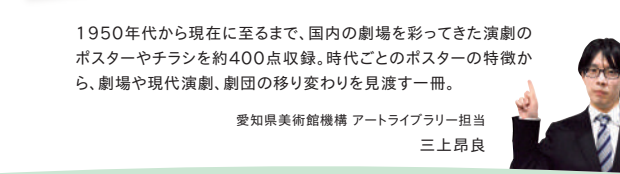
さて、このPAYW方式の先駆けは、おそらくニューヨークの巨大複合舞台芸術施設、リンカーン・センターでしょう。最低額はたったの5ドル。コロナ明けの2022年10月、同施設の一部であるNYフィルハーモニーの常駐ホール(Geifman Hall)のリニューアルオープンをきっかけに導入した...と記憶しています。

でも、リンカーン・センターがPAYWを始めた理由はオペラ・フィラデルフィアとはちょっと違っています。60年代に誕生した同センターは、黒人とフェル

## ART LIBRARY

スタッフのオススメの劇場の本!

劇場のグラフィズム  
アングラ演劇から小劇場ブーム、現代まで  
笹目浩之/著 グラフィック社、2024



1950年代から現在に至るまで、国内の劇場を彩ってきた演劇のポスターやチラシを約400点収録。時代ごとのポスターの特徴から、劇場や現代演劇、劇団の移り変わりを見渡す一冊。  
愛知県美術館機構 アートライブラリー担当 三上良良



塩谷陽子 Yoko Shiyama  
ジャパ・ソサエティ(NY)芸術監督

日本の現代演劇、ダンス、実験音楽、そして古典芸能から非日本人への新作受演など、JS館内劇場での通年の舞台公演シーズンを作る。2019年、NYベッシー賞から「卓越したキュレーション賞」を、2024年には外務大臣表彰を受ける。

## navigator's COLUMN

当劇場スタッフが舞台芸術の世界をナビゲート。  
舞台裏のあんな話やこんな話も!

ベルギーの演劇カンパニー「コンパニー・デ・ミュタン」とサーカスカンパニー「サイド・ショー」による本作は、演劇・ダンス・サーカスの要素がやさしく溶け合い、想像力あふれる舞台です。パステルカラーのテントに囲まれた空間で、3人の友だちの小さな旅が、日常から空想の世界へと広がっていきます。障がいのある方もない方も、どなたでも安心してご覧いただける「リラックス公演」としてお届けします。愛知県芸術劇場をはじめ各地での上演を、どうぞお楽しみください。



愛知県芸術劇場 企画制作部プロデューサー 仲村悠希

公共劇場プロデューサーの  
お仕事紹介記事で  
仲村さんに密着!



AACタイム WEBページで!

2026年7月23日(木)・24日(金)  
『やさしい革命』  
子どもと大人のためのリラックス・パフォーマンス  
場所/愛知県芸術劇場小ホール  
時間/23日(木)14:00~、  
24日(金)11:00~/14:00~  
※県内ツアーあり  
(8月5日(水)碧南市芸術文化ホール  
8月7日(金)名古屋市市中村文化小劇場)



詳細は劇場 WEBページで!



© Hubert Amiet

\*会期2026年4月11日(土)~6月7日(日)